

日本語表現力強化コース②【徹底した個別添削の講座】 カリキュラム表

実務を模した課題と添削で魅力的な文章を書く技術を学ぶ(全4回) 毎週木曜 19:00～21:20

1	10/8 (木)	“伝えたいポイント”を切り出す 新楽講師 前課題はビジネス関連書、啓発書のブックレビュー（書評）。 単なる概要説明ではなく「読者の＜知りたい＞という気持ちに刺さるコラム」の書き方を習得する。 ★提出期限 10/5(月)13:00まで
2	10/15 (木)	“時代性・社会の空気”を取り込む 新楽講師 前課題は現在の社会トレンドや文化についての批評文。1,000字の執筆に チャレンジする。読者と価値観を共有し、共感を呼び起こす文章術の習得を目指す。 ★提出期限 10/12(月)13:00まで
3	10/22 (木)	“伝わる流れ”を生み出す 小笠原講師 前課題は身近な地域の魅力を伝える「音声スポットガイド」の原稿執筆（400字程度）。直感に 頼らず、情報と流れを整理して書く。一読一聴で伝わる文章の「型」の習熟と、伝える技術の 向上を目指す。 ★提出期限 10/19(月)13:00まで
4	10/29 (木)	“映像の言語化”で表現力を磨く 小笠原講師 前課題は、見えない・見えづらい人にも映画やドラマの視聴体験を届ける「Audio Description （音声描写）」の原稿執筆（2分ほどの映像）。画を掴んで言葉にするトレーニングを通じ、 記事執筆や翻訳などあらゆる日本語クリエイティブに通じる表現力を磨く。 ★提出期限 10/26(月) 13:00まで

※講師および授業内容などは予告なしに変更されることがあります。

※始業後、講師はクラスの状況をみて教材等を調整・変更することがあります。



講師: 新楽 直樹／日本映像翻訳アカデミー（本校・LA校）代表

雑誌編集、メディア・プランニング会社経営を経て、1996年に日本映像翻訳アカデミーを設立。
 1000名以上のプロを育成し、「映像翻訳」という職能の確立・定義を行う。編・著書に、「映像翻訳
 者になろう」、「翻訳者になるための練習問題100」、「ライターになるための練習問題100」
 「字幕翻訳とは何か 1枚の字幕に込められた技能と理論」などがある。



講師: 小笠原 尚軌／日本映像翻訳アカデミー（本校）バリアフリー事業部 ディレクター

エンタメ誌の記者職・編集職に従事した後、“映像のバリアフリー化”という言葉に引かれて日
 本映像翻訳アカデミーに入学・入社。現在は日本語オーディオ・ディスクリプション（AD）／
 音声ガイドの制作を中心にさまざまな映像作品のメディア・アクセシビリティに携わる。
 近年のAD担当作品にアニメーション映画「ルックバック」、短篇映画「彼方の声」など。

このコースは、リアルタイム型リモート（オンライン）方式で行います。